

平成25年度 社会福祉法人燕市社会福祉協議会事業報告

◆重点事項の概要

平成25年度より平成29年度までの5年間の活動期間として策定した、民間活動計画『第2次燕市地域福祉活動計画“燕ささえあいプラン”』の1年目として様々な実践を展開した。同時に策定された行政計画の「第2次燕市地域福祉計画」との一体的な取り組みを、行政だけではなく地域や専門機関等と連携しながら進めてきた。特に今年度は、地域とのつながりをより大切にした『支え合いの体制づくり』のために、その推進役として本会にコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を3名配置し、地域活動を進めた。なかでも、市内13まちづくり協議会単位に地域懇談会を開催し、住民同士の支え合い意識の向上に努めるとともに、地域における実践者の発掘に努め、講演会やフォーラム、人材の養成講座を開催するなど本活動を広く周知した。

また、個別支援、課題解決の視点から、本会における内部連携の強化を図るため、総合相談支援センターの主導による連携会議を開催し、困難ケース対応策の共有ならびに行政や他機関等との連携のあり方を確認した。

燕市障がい者地域生活支援センターはばたきでは、新たに児童福祉法に基づく放課後等デイサービス(学童期療育支援)を開設し、本市では2か所目となる療育支援を担う事業所としてスタートした。他に、燕市デマンド交通予約センターの受託運営も開始した。

これら地域福祉を進める民間団体であることを広く市民や行政・関係機関等に周知し、理解と協力を得て組織強化や運営財源の確保に努めた。

◆基本方針項目

1. 法人組織の強化	2. 安定した事業財源の確保	3. 施設の管理運営	4. 地域を支える人づくり
5. 一人ひとりの自立生活を支えるシステムづくり	6. 福祉サービスの利用支援・権利擁護	7. 在宅福祉サービスの充実	8. 災害支援

◆事業実施状況詳細

1. 法人組織の強化

■会務・事務局機能の充実・強化

(1)理事会・評議員・監査会等の開催状況

25. 5. 15	平成24年度決算監査 於 本所多目的室 出席監事2名 1. 平成24年度事業報告 2. 平成24年度一般会計及び特別会計資金収支計算書 3. 平成24年度諸帳簿の確認
25. 5. 24	第1回理事会 於 老人集会センター 出席理事13名 監事2名 第1号議案 平成24年度事業報告並びに決算報告について 第2号議案 法人本部事務所移転について 第3号議案 評議員欠員に伴う補欠選任について
25. 5. 24	第1回評議員会 於 老人集会センター 出席評議員28名 第1号議案 平成24年度事業報告並びに決算報告について 第2号議案 法人本部事務所移転について
25. 12. 2	平成25年度上半期監査 於 本所多目的室 出席監事2名 1. 平成25年度上半期事業報告 2. 平成25年度上半期一般会計及び特別会計資金収支計算書

25. 12. 19	第2回理事会 第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案	於 老人集会センター 出席理事15名 監事2名 平成25年度上半期事業報告並びに決算報告について 平成25年度第一次資金収支補正予算について 評議員欠員に伴う補充選任について 地域福祉活動計画評価委員会設置要綱の制定について
25. 12. 19	第2回評議員会 第1号議案 第2号議案 第3号議案	於 老人集会センター 出席評議員30名 平成25年度上半期事業報告並びに決算報告について 平成25年度第一次資金収支補正予算について 理事欠員に伴う補充選任について
26. 3. 28	第3回理事会 第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案	於 老人集会センター 出席理事15名 監事2名 平成25年度第二次資金収支補正予算について 経理規定の改正について 平成26年度事業計画・資金収支予算について 評議員欠員に伴う補充選任について 規程の改正及び制定について 緊急災害見舞金給付要綱の廃止について
26. 3. 28	第3回評議員会 第1号議案 第2号議案 第3号議案	於 老人集会センター 出席評議員26名 平成25年度第二次資金収支補正予算について 平成26年度事業計画・資金収支予算について 任期満了に伴う役員を選任について
法人経営会議		月1回(4/1、5/7、6/3、7/1、8/5、9/2、10/9、11/1、12/2、1/6、2/3、3/6)
管理会議		月1回(5/1、5/29、6/26、7/30、8/28、10/2、10/30、11/27、12/25、1/30、2/26)
会計月次指導(外部監査:つばさ税理士法人と業務契約)		月1回(4/24、5/8、6/20、7/17、8/22、9/13、10/18、11/22、12/17、1/15、2/19、3/27)

(2)部会・委員会の開催状況

「発展・強化計画」及び「地域福祉活動計画」で取り上げた事項の実践状況を部会等において随時評価し、目標達成をめざした。
また、「第2次地域福祉活動計画」を実践するにあたり、関係する部会等において検討、協議を行った。

地域福祉部会	年1回(11/29)
燕市ボランティア・市民活動センター運営委員会	年2回(8/1、1/27)
燕市地域福祉活動計画評価委員会	年1回(1/29)
燕市障がい者地域生活支援センター運営委員会	年2回(9/30、3/24)
福祉後見・権利擁護センター運営委員会	年3回(8/29、12/12、3/20)
ふれあい喫茶「ほぼ」運営委員会	年2回(6/3、8/5)

(3)第2次燕市地域福祉活動計画の実践・評価 ※評価結果は別紙参照。

第2次燕市地域福祉活動計画の実践初年度にあたり、行政計画である「燕市地域福祉計画」との整合性を保ちながら取り組みを進めた。
また、計画策定並びに取り組みの進展について、日本地域福祉研究所・所属理事 金井敏氏(高崎健康福祉大学教授)よりご指導いただいた。
なお、同計画の年度評価にあたっては、同計画評価委員会を設置し、金井氏同席のもと進捗状況を把握し、評価・検証を行った。

金井教授コンサルテーション	年5回(4/12、5/17、7/31～8/1、11/29、1/29)
燕市地域福祉活動計画評価委員会(再掲)	年1回(1/29)
地域福祉活動報告会	年3回(7/31、11/29、1/29)

(4)事業評価システム ※評価結果は別紙参照。

社協活動の質と、職員の取り組み姿勢の向上をめざして、事業担当者が1年間の取り組みについて結果を検証するとともに、段階的に上部評価を実施し社協としての成果、今後の課題、取り組みをまとめた。

事業担当者および管理職評価(13事業)の実施	2/4～17:評価職員10名、評価スタッフ23名、評価管理職4名
------------------------	----------------------------------

(5)課・係内会議

定期的に課内会議を実施し、職員の主体性を促し積極的に事業に取り組む姿勢を助長した。

総務課内会議	年6回(4/10、5/8、7/10、9/4、11/7、2/24)
総務課内会議(施設管理係)	年3回(7/19、10/24、2/24)
地域福祉課内会議	年5回(4/11、6/13、9/12、10/18、1/16)
地域福祉活動担当者定例会	年10回(4/12、5/14、6/11、7/9、9/10、10/15、11/19、12/10、1/14、3/11)
ボランティア担当者定例会	年12回(4/13、5/21、6/3、7/22、8/19、9/9、10/30、11/18、12/16、1/20、2/17、3/17)
介護事業課内会議	年4回(5/27、8/26、11/25、2/24)
介護事業課係内会議(居宅介護支援係)	年12回(4/8、5/8、6/7、7/8、8/8、9/9、10/8、11/8、12/9、1/8、2/7、3/7)
介護事業課係内会議(在宅福祉サービス係)	年12回(4/26、5/28、6/25、7/9、8/9、9/10、10/8、11/12、12/10、1/7、2/4、3/4)
福祉後見・権利擁護センター運営委員会	年3回(8/29、12/12、3/20)
就労支援センター定例会	年11回(4/17、5/15、6/19、7/17、8/21、10/16、11/20、12/25、1/15、2/19、3/19)
放課後等デイサービス事業会議	年6回(7/11、9/27、10/29、11/28、1/23、2/27)

■役職員研修の資質向上

(1)役員研修

県社会福祉協議会主催の研修会に参加し、社会福祉の更なる充実の手法について学んだ。

第62回県民福祉大会への参加	10/22～23(湯沢町):参加22名
----------------	---------------------

(2)人事考課制度

評価の結果を定期昇給・勤勉手当へ反映させた。

(3)内部研修会

外部の専門職を講師に、本会職員としての自覚の醸成と資質の向上をめざした。

職員内部研修会	年4回(4/18、5/30、7/26、11/8)
---------	--------------------------

(4)実務職員会議

各部署の実務職員が定期的に会し、業務の相互理解のもと、組織内での連携を図った。

実務職員会議	年3回(6/21、10/17、2/13)
--------	----------------------

2. 安定した事業財源の確保

■ 会員会費の拡充

市民への福祉サービスの充実をめざし、6月に賛助会員・特別会員・まる特会員、8月に自治会協力のもと一般会員の募集を行い、事業財源の確保に努めた。

会費種別	地 区	内訳(世帯)	合計(円)	(前年:円)	会費種別	会費額	合計(円)	(前年:円)
一般会費 世帯500円	燕地区	9,313	4,379,689	(4,358,502)	賛助会費	1口 1,000円	673,000	(568,000)
	吉田地区	3,876	1,792,984	(1,913,157)	特別会費	1口 10,000円	2,880,000	(2,920,000)
	分水地区	3,934	1,590,769	(1,636,380)	まる特会費	1口 50,000円	800,000	(800,000)
	合 計	17,123	7,763,442	(7,908,039)	合 計		4,353,000	(4,334,500)

■ 共同募金事業への協力

共同募金運動は、住民相互の助け合いを基調とし、一人ひとりがこの運動を理解し、参加するよう呼びかけ、燕市支会の共同募金運動に協力した。

(1) 赤い羽根募金

(単位:円)

募 金 種 別	目 標 額	実績額	(前年:円)
戸別募金	地 燕地区	4,842,314	(4,897,681)
	吉田地区	2,019,745	(2,206,977)
	分水地区	1,547,360	(1,573,019)
	小 計	8,650,000	(8,677,677)
大口(法人)募金	2,750,000	2,806,127	(2,728,338)
職 域 募 金	380,000	360,834	(382,978)
学 校 募 金	350,000	279,797	(332,211)
街頭募金(市内10カ所)	175,000	126,373	(147,642)
その他募金	584,000	624,899	(693,575)
合 計	12,889,000	12,607,449	(12,962,421)
	目標達成率	97.82%	

(2) 歳末たすけあい募金 (単位:円)

地 区	目 標 額	実績額	(前年:円)
燕地区		2,896,555	(2,940,105)
吉田地区		1,210,783	(1,279,771)
分水地区		933,461	(952,193)
合 計	5,138,000	5,040,799	(5,172,069)
	目標達成率	98.11%	

■ 事業財源の募集・確保

(1) 福祉基金等運営事業

積み立てた基金から生ずる利息を事業費に充当し、福祉の充実を図った。

(単位:円)

名 称	項 目	使 途	金 額	年度末基金残高
福祉基金	預金利息	全額を事業費に充当(次年度繰越)	4,662	19,830,033
	法人運営事業寄付金	基金原資に加算	1,280,564	(北越銀行定期預金)
早川賢治・清子記念 社会福祉基金	預金利息	全額を事業費に充当(次年度繰越)	9,092	30,309,159 (協栄信用組合定期預金)

3. 施設の管理運営

■指定管理施設の管理経営

(1)燕市老人集会センター

燕市の指定管理者として、高齢者等の生きがいがづくりや健康増進などの場とした施設の管理経営を行った。

【利用状況】

(単位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
大集会室	1,104	1,233	1,040	1,147	1,156	1,649	899	1,293	1,400	789	1,027	984	13,721	(前年:13,383)
調理実習室	192	150	171	170	162	142	157	171	140	142	132	129	1,858	(前年:2,456)
会議室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(前年:0)
研修室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(前年:0)
合 計	1,296	1,383	1,211	1,317	1,318	1,791	1,056	1,464	1,540	931	1,159	1,113	15,579	(前年:15,839)

(2)燕市障がい者地域生活支援センター「はばたき」

燕市の指定管理者として、障がい者に対する日常の相談、日中活動等を通して地域生活を支援する場とした施設の管理経営を行った。

また、事業の周知や地域の理解を得るため「はばたき祭」を開催した。(11/23:来場480名)

【利用状況】

(単位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
団体活動等	0	0	0	33	0	0	0	25	0	0	0	0	58	(前年:50)
会 議	36	40	9	72	41	4	9	37	34	15	11	28	336	(前年:430)
宿泊体験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(前年:0)
体験利用	1	0	1	1	2	1	11	22	20	19	23	9	110	(前年:84)
その他	86	113	101	84	92	63	70	72	46	38	57	75	897	(前年:1,514)
土日祝	122	105	47	39	81	88	94	515	78	47	87	110	1,413	(前年:1,730)
合 計	245	258	158	229	216	156	184	671	178	119	178	222	2,814	(前年:3,808)

(3)燕市吉田老人センター「燕市シニアセンターよしだ」

燕市の指定管理者として、高齢者の健康増進と生きがいがづくりの場の提供ならびに老人クラブ等の地域活動を支援するため施設の管理経営を行った。

また、吉田老人センター祭(作品展示・物品販売など)を開催した。B222(10/19、20:来場1,026名)

【利用状況】

(単位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
研修室	96	103	168	94	152	150	153	88	148	155	112	137	1,556	(前年:1,951)
調理実習室	29	32	32	28	32	28	21	30	35	30	28	30	355	(前年:461)
大広間	325	232	145	291	149	243	1,294	233	350	254	336	195	4,047	(前年:3,560)
会議室	24	25	24	25	29	29	23	31	11	35	24	40	320	(前年:691)
談話室	152	85	95	97	112	121	97	115	122	93	139	113	1,341	(前年:1,665)
第1・2集会室	332	372	285	276	282	289	228	277	258	262	280	410	3,551	(前年:3,455)
第1・2娯楽室	85	153	162	122	173	154	129	106	106	79	90	92	1,451	(前年:1,353)
合 計	1,043	1,002	911	933	929	1,014	1,945	880	1,030	908	1,009	1,017	12,621	(前年:13,136)

前年実績も枠を設ける

(4)燕市分水保健福祉センター

燕市の指定管理者として、高齢者等の生きがいつくりや健康増進などの場とした施設の管理経営を行った。

【利用状況】

(単位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
大広間	146	74	244	114	184	85	136	116	127	87	256	193	1,762	(前年:1,807)
中広間	91	68	72	94	104	69	122	55	77	65	105	91	1,013	(前年:861)
研修室	30	32	27	26	4	24	24	30	20	22	21	16	276	(前年:255)
談話室	40	55	142	26	23	63	37	28	5	26	28	21	494	(前年:576)
合 計	307	229	485	260	315	241	319	229	229	200	410	321	3,545	(前年:3,499)

■法人施設の管理運営

(1)燕市老人福祉センター「つばめ荘」

年末年始を除き通年の開館により、高齢者の積極的な生きがいつくりと心身の休養の場としての役割を果たした。

また、老人福祉センター祭を開催した。(作品展示・演芸披露など) (9/15、16、17:来場898名)

【利用状況】

(単位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
市内 老人・障害者	2,173	2,198	1,957	2,008	1,975	1,794	2,058	1,861	1,899	2,029	2,041	2,322	24,315	(前年:24,828)
中学生以上	20	19	21	18	16	20	15	13	17	22	23	15	219	(前年:195)
市外者	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	(前年:6)
減免者	168	88	151	125	80	82	78	102	96	76	200	168	1,414	(前年:1,239)
合 計	2,361	2,305	2,129	2,151	2,071	1,897	2,151	1,976	2,012	2,127	2,264	2,505	25,949	(前年:26,268)
個室利用(件数)	3	5	4	6	2	5	5	12	7	6	8	9	72	(前年:63)

(2)屋内ゲートボール場「すばーく燕」

高齢者及び地域住民が、健康と生きがいつくりの中で友愛の心を養う施設として、屋内ゲートボール場「すばーく燕」の管理運営を行った。

【利用状況】

(単位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計		
GB利用者数	413	342	590	479	447	560	366	348	490	498	434	571	5,538	(前年:6,825)	
目的外利用者数	サッカー	0	0	0	0	0	163	120	252	235	264	165	1,199	(前年:652)	
	野 球	59	0	18	18	0	20	30	80	80	76	80	461	(前年:1,513)	
	ソフトボール	8	0	0	0	0	0	0	13	20	26	30	97	(前年:294)	
	地域活動等	250	0	0	0	0	0	290	0	0	0	0	540	(前年:300)	
	燕市健康づくり課	40	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	90	(前年:226)	
	減免(燕中野球部)	60	0	0	0	0	0	0	0	358	440	315	160	1,333	(前年:0)
	小 計	417	0	18	18	0	20	533	120	703	775	681	435	3,720	(前年:2,985)
合 計	830	342	608	497	447	580	899	468	1,193	1,273	1,115	1,006	9,258	(前年:9,810)	

(3)ふれあい喫茶「ぼぼ」

ふれあい喫茶「ぼぼ」(食堂)に専任職員を配置し、ボランティアの支援により、接客業務を通して障がい者の社会参加意欲の向上に努めた。

また、視察研修を行った。(8/21 新潟市 14名参加)

【売上状況】

(単位:円)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
売上金額	411,020	407,550	404,070	403,070	390,810	758,860	373,040	430,600	398,930	381,750	401,360	466,557	5,227,617 (前年:5,497,175)

【従事状況】

(単位:人)

(単位:人)

業務担当障がい者		人 数
区 分	身体障がい者(聴覚障がい)	2 (前年:2)
	知的障がい者	11 (前年:14)
	精神障がい者	0 (前年:1)
	合 計	13 (前年:17)

支援ボランティア		人 数
区 分	障がい者関係	12 (前年:13)
	高齢者関係	9 (前年:12)
	シルバー人材センター(有料)	3 (前年:3)
	合 計	24 (前年:28)

(4)吉田ボランティア・市民活動センター「あい. ゆう」

ボランティアの研修や情報の収集・情報の交換・情報の提供等ができる施設として運営した。

【利用状況】

(上段:件数、下段:人数)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
会 場 利 用	会議室	38	35	34	41	34	38	31	29	27	23	28	40	398 (前年:438)
		428	410	331	390	323	366	374	350	339	313	321	546	4,491 (前年:4,481)
	作業室	7	5	0	4	3	6	1	7	0	3	0	11	47 (前年:50)
		7	5	0	4	3	6	1	13	0	3	0	11	53 (前年:54)
	相談室	6	4	8	3	5	7	9	3	7	6	11	8	77 (前年:77)
		17	14	22	4	12	26	27	6	23	12	26	25	214 (前年:240)
	コミュニティ スペース	4	3	2	1	0	3	2	2	4	5	3	3	32 (前年:10)
		12	17	5	2	0	14	6	11	13	26	16	4	126 (前年:79)
	小 計	55	47	44	49	42	54	43	41	38	37	42	62	554 (前年:575)
		464	446	358	400	338	412	408	380	375	354	363	586	4,884 (前年:4,854)

4. 地域を支える人づくり

■ ボランティア・市民活動センター機能の充実・強化

(1) ボランティア・市民活動センターの機能強化

「燕市ボランティア・市民活動センターの活用の手引き」を作成するとともに、市地域振興課の協力を得て、市内で活躍するグループ・団体をまとめた『燕市市民活動データブック』を作成した。

本所・支所にボランティアコーナー(掲示板)を設置し、身近な情報の提供やボランティア保険への加入促進等に努めた。また、ボランティアコーディネーターを中心にボランティアの相談・登録・斡旋に努め、連絡調整の機能を果たした。また、ボランティアの相談内容や登録ボランティア情報のデータ整備を行った。

- ・窓口相談件数 燕本所:24件、吉田支所:34件、分水支所:8件 計66件(H26.3月末現在)
- ・ボランティア・市民活動センター実活動登録者:6,738名(H25.9月末現在)
- ・ボランティア活動保険加入者:1,637名(H26.3月現在)

(2) ボランティア情報紙の発行

近況のボランティア活動紹介や講座開催など幅広く情報を提供し、さらなるボランティア活動の拡大を図った。

燕市ボランティア・市民活動センター情報誌「ボプラ」	年3回(市内全域回覧3,500部)
---------------------------	-------------------

(3) ボランティア・市民活動団体の把握

燕市内で活躍する、ボランティア・市民活動団体(市内NPO法人、まちづくり協議会、イキイキまちづくり団体など)に対して市地域振興課とアンケートを実施。回答をいただいた117団体を掲載した『燕市市民活動データブック』を作成し、市民活動まつりやボランティアセンター事業で市民に配布した。

■ 人材の発掘・育成

(1) ボランティア発掘・養成

市民活動やボランティア活動の活性化を図るため、地域性に配慮するとともに、タイムリーな講座・研修会を開催した。また、講座・研修会を通じ、新たなボランティアやボランティアリーダー等を発掘・養成し、地域における実践活動につなげた。

アロマハンドトリートメントボランティア養成講座	6/20～7/11の4日間コース:受講26名
ボランティア情報交換会「ボラ・カフェ」(夜間開催)	8/29:参加45名
広報誌作成講座	10/28:受講10名
災害を地域で考える研修会(災害救援ボランティア講座)	12/3:受講29名
支え合いスタート講座	1/21～2/18の4日間コース:受講21名
ボランティア情報交換会「ボラ・ランチ」(昼間開催)	2/27:参加34名
支え合いマップインストラクター フォローアップ講座	3/13:受講14名 ※殿島1丁目自治会より協力

(2) 福祉教育・総合学習の支援、福祉教育担当者会議

市内の小・中・高校に出向き、福祉の指導や講義(手話・点字・車イス・高齢者擬似体験・アイマスク体験等)などで総合学習における支援(10回)を行った。

(3) ボランティアスクール

市内の小学校などに夏休み期間中、福祉体験や環境、防災などの体験教室を開催し、支えあいの心を育むとともに社会福祉への関心を高めた。ボランティアスクール開催にあたって、6団体より運営に協力をいただいた。

夏休みボランティア体験	5講座:延べ54名の児童・保護者が受講
-------------	---------------------

■法人広報機能の強化

(1) 広報強化プロジェクトの組織化

法人の存在を地域住民にもっと知ってもらおうとともに、住民にとってより身近な社協となるため、広報活動を強化するため内部プロジェクトを立ち上げた。現在発行している広報媒体の見直しや新たな広報活動について検討を行った。

なお、プロジェクトの展開にあたっては、外部へ専門的なアドバイザーを依頼した。(アドバイザー:NPO法人まちづくり学校より派遣)

広報プロジェクト会議	年9回(5/24、6/12、8/7、9/13、11/14、12/11、1/28、2/26、3/26)
------------	--

(2) ホームページの運営・充実

法人のPRや地域福祉事業への理解と参加を促進し、市民が円滑に福祉サービスを利用できるよう最新情報の提供に努めた。

(H26.3月末:閲覧者数:延べ8,622名)

(3) 社協だより「たち心」の発行(第44号～第49号)

奇数月に発行し、全戸及び賛助会員・特別会員・まる特会員に配布、資産状況及び会費・共同募金配分金等を財源とする事業使途の周知を含め、福祉情報の提供に努めた。また、掲載内容を充実するため「広報モニター(公募による市民4名)」に意見・感想を求めた。

広報モニター会議	年2回(9/17、3/18)
----------	----------------

(4) リーフレット等の作成

市民活動・ボランティアセンターの活動内容を周知するため、パンフレットを作成した。また、会員会費や共同募金を使って実施する地域福祉活動を紹介するDVDを新潟県共同募金会の助成を受け作製した。また法人の活動を紹介するリーフレットについては次年度の作成をめざして今年度検討を行った。

(5) は～とふるカレンダーの発行

年間を通して組織の啓発を図るため、カレンダー(B1サイズ)を作成した。なお、掲載写真(6枚)は、市民からの応募、投票で決定した。

カレンダー掲載写真コンテスト	年1回(9/21)
----------------	-----------

(6) 市民活動まつりの開催

市ならびに市ボランティア連絡協議会の共催を得て、市内のボランティア・市民活動団体がまつりを通じて交流を図り、それぞれの活動PRを行った。

(9/21:来場者1,000名、協力・運営ボランティア200名)

市民活動まつり実行委員会	年4回(6/1、7/8、9/9、10/7)
市民活動まつり参加団体説明会	年1回(8/21)

(7) 心のバリアフリーの啓発

障がいがあってもなくてもともに支え合い、安心して暮らせる地域づくりをめざした啓発事業として、講演会や当事者・関係者によるリレートークなどを実施した。精神障がい者への差別、偏見は未だ払拭されていない今日、継続的に実施することで「障がい」に対する理解を深めた。

バリアフリー講演会&リレートーク ～ひとりじゃないよ、ありのままを受け止めよう～	9/21:58名 (講演会)講師:kacco氏 (リレートーク)コーディネーター:江口 歩氏、発言者:kacco氏、市民2名
バリアフリー講演会 ～LDは僕のID～字が読めないことで見えてくる風景～	2/1:116名、講師:南雲明彦氏

■住民団体等との連携・支援

(1)民生委員・児童委員との協働

市民、行政、自治会、民生委員・児童委員、ボランティア団体等との協働を進め、事業を展開した。歳末たすけあい配分金事業の希望者把握や生活福祉資金貸付世帯への援助指導、小地域活動に対する支援など、民生委員・児童委員には事業全般にわたる協力をお願いし、地域福祉の推進を図った。

地区民生委員・児童委員協議会定例会への出席	燕第1～第4地区民協:延べ42回、吉田地区民協:11回、分水地区民協:9回
地区民生委員・児童委員協議会会長会議への出席	4/10:職員1名、10/9:職員1名
福祉コミュニティ推進講演会の共催	燕市民生委員児童委員協議会より共催(5/17開催)
市民生委員・児童委員協議会(障がい者福祉部会)への講師(職員)派遣	11/11:参加30名
おせち料理宅配サービス事業での共催	希望取りまとめ:10/17～12/6、宅配実施:12/31

(2)まちづくり協議会との連携

地域支え合い活動の実践に伴い、まちづくり協議会単位での地域の多様な福祉ニーズ把握に対応するための協議を行った。

まちづくり協議会会長・事務局長懇談会への出席	6/5、2/20
------------------------	----------

(3)福祉団体等への助成

既助成団体への助成を行う共同募金会との連携をとり、福祉活動団体等を支援する。(助成団体数:31団体)

(4)市内支援機関との連携

市内支援機関との定例会や勉強会等を開催し、業務の相互理解のもと、課題解決に向けた円滑な連携体制を図った。

市内地域包括支援センター職員との定例会	市内4つのセンター単位に毎月1回:CSW1～2名の出席
市内地域包括支援センター社会福祉士部会への参加	隔月1回:総合相談支援センター職員、CSWの出席
燕市福祉相談支援チームとの情報交換会	8/23:参加22名
療育支援関係職員研修	11/29:参加15名

(5)NPO(市民活動)への支援

NPOに対し運営費助成のほか、ボランティア情報交換会への参加を求め、発展的な活動への助長及び他団体との連携を図った。
また、本会ボランティア養成講座において団体との協働体制をとりながら、NPO活動への理解促進を図った。

支え合いスタート講座(再掲)での運営協力	協力:2団体
夏休みボランティアスクール(再掲)での運営協力	協力:6団体
アロマハンドトリートメントボランティア養成講座(再掲)での運営協力	協力:6団体
市民活動データブック作成にかかる団体情報の登録	回報:28団体
助成金情報などメールマガジンの発行	登録:14団体

(6)ボランティア連絡協議会への支援

市及び地区のボランティア連絡協議会に対し、事務局運営や運営費助成のほか、事業開催および活動を支援した。

燕市ボランティア連絡協議会理事会	年2回(4/13、2/16)
燕市ボランティア連絡協議会会員研修(県ボラ連講演会参加)	5/23:参加1名
新潟県ボランティア連絡協議会「情報交換会」へ参加	11/13:参加1名
チャリティーバザーへの協力(燕地区ボランティア連絡協議会主催)	12/1:来場400名

(7)老人クラブ連合会への支援

市及び地区の老人クラブ連合会に対し、事務局運営等の支援を行った。

(8)24時間TVチャリティー募金への支援

日本テレビ放送網(株)が主催するチャリティー募金に賛同し、ボランティアによる募金活動への支援を行った。

24時間TVチャリティー募金	8/24~25:4カ所、ボランティア:延べ26名、募金計:601,331円
----------------	---------------------------------------

5. 一人ひとりの自立生活を支えるシステムづくり

■福祉コミュニティの推進

(1)地域支え合いネットワーク事業

第2次燕市地域福祉活動計画「燕ささえあいプラン」における地域支え合い活動の取り組みを進めるにあたり、本会に3名のCSW(コミュニティソーシャルワーカー)を配置。実践初年度として、民生委員・児童委員協議会をはじめ、まちづくり協議会や事業所、関係機関等への事業説明、講演会やフォーラム開催による啓発に努めた。本会実施事業を通して、CSWのみならず相談支援関係職員や介護関係職員には地域住民へ見守り・声かけなどへの積極的な対応を求め、高齢者や障がい者等の地域生活への支援活動を行った。また、先進地視察研修や各種検討会等に参加し、本事業の基盤づくりを図った。

●関係機関との連携

市内4地区地域包括支援センターとの定例会(再掲)	おおまがり地区:12回、さわたり地区:12回、吉田地区:12回、分水地区:12回
地域包括支援センター社会福祉士部会への参加(再掲)	5/9、7/11、9/12、11/14、1/9、3/12
その他、相談支援機関連絡会、各地区ケアマネ連絡会、福祉課相談支援チームとの情報交換会等へ積極的に参加し、連携を強化した。	

●住民・地域の意識変化

福祉コミュニティ推進講演会～人とひとの～支えあいにあふれたまちづくり～	5/17:173名、(講師)金井敏氏 ※燕市民生委員児童委員協議会共催
まちづくり協議会懇談会(市主催)への出席	6/5:4名、2/20:2名
夏休みボランティアスクールにて支え合いポイント制度体験実施	配食:小学生18名、サロン:小学生2名
地域の相談窓口関係者懇談会	8/1:16名
地区福祉懇談会(まちづくり協議会単位で開催)	8/16、8/24、8/28、9/11、10/3、10/12、10/24、11/9、11/12、11/13、11/15、11/16 延べ268名 ※まちづくり協議会共催
燕ささえあい活動推進フォーラム ～地域住民がささえあう福祉活動を進めるために～	2/23:196名 ※燕市共催 座長:金井敏氏、登壇者:名古屋市社協職員、市民2名、市福祉課職員、本会職員
支え合いマップインストラクター フォローアップ講座	3/13:14名 ※殿島1丁目自治会より協力

●具体的ニーズの充足度

相談対応	59件
相談に関するケース会議の開催や他が主催するケース会議へ出席し、その支援内容について検討した。(24回)	

●その他

CSW指導会 (講師)金井敏氏	5/17:職員4名
生活困窮者支援に関する勉強会 (講師)金井敏氏	7/31:職員12名、市福祉課職員3名
CSW意見交換会(新潟市社協のCSWとの合同)	7/31:職員4名、新潟市社協職員9名
先進地視察研修(名古屋市社会福祉協議会)	9/5～6:職員2名(他、市福祉課職員1名)
燕市地域支え合い活動推進委員会(市主催)への出席	5/31:職員3名

玄関前除雪支援事業

地域での支え合い活動推進のため、除雪支援体制づくりへの協力を求めた。主に高齢者や障害者のみの世帯等で、自力での玄関前除雪が困難であり、親族や地域住民からの支援が受けられない世帯に対して、除雪作業にかかる料金の全額助成を行った。地域での除雪支援受けられない場合は、従来どおりシルバー人材センターより除雪支援者の派遣を行った。

【除雪支援申請状況】 (単位:世帯)

区分	燕地区	吉田地区	分水地区	合計	
地域支援	19	22	17	58	(前年:70)
シルバー委託	19	6	2	27	(前年:31)
合計	38	28	19	85	(前年:101)

(2)ふれあいサロン事業(高齢者サロン記載)

閉じこもりがちな高齢者や障がい者などが集う、地域住民により自主運営される「ふれあいサロン」に対し、体操指導の講師や運営スタッフの派遣など支援を行った。(サロン数…燕地区14、吉田地区27、分水地区26 計67サロン)

ふれあいサロン研修会	2/20:参加27名
ふれあいサロン助成説明会	燕地区:参加15名、吉田地区:参加28名、分水地区:参加34名
ふれあいサロンへの体操指導講師の派遣	15回
ふれあいサロンへの運営スタッフの派遣	16回
ふれあいサロンへの福祉相談の実施(職員派遣)	4回
ふれあいサロンへの備品貸し出し	11回

(3)子育てサロン事業

就園前の子どもとその親などが地域の集会所などに定期的集まり、市民参加による自主運営で開催される子育て版「ふれあいサロン」に対し、活動助成や備品の貸し出しなど支援を行った。(サロン数:燕地区4、吉田地区1、分水地区1 計6サロン)

子育てサロン協力員研修会	11/22:参加15名
子育てサロンへの備品貸し出し	延べ26回

(4)在宅介護者サロン事業

在宅で介護をしている方が定期的集まり、市民参加による自主運営で開催される在宅介護者版「ふれあいサロン」に対し、活動助成を行った。

(サロン数:燕地区1、吉田地区1 計2サロン)

在宅介護者サロンへの体操指導講師の派遣	延べ2回
在宅介護者サロンへの福祉相談の実施(職員派遣)	延べ2回

(5)地域介護予防活動支援事業

市の委託を受け、介護予防活動へのきっかけづくりのほか、新たな人材の発掘を目的とした講演会や体操お試し教室を開催し、地域住民への啓蒙・啓発を図った
また、健康運動サポーター養成講座を通し人材育成を図るとともに、その人材を活かせるよう市担当課と連携をとりながら新規グループ立上げを進めた。

(グループ数…燕地区10、吉田地区4、分水地区4 計18 →うち、平成25年度新規2)

ウォーミングアップサロン(サポーター育成のための実践訓練)	月1回開催:参加延べ205名
お試し教室(全8回コース:市内5会場)	分水福祉会館:延べ88名、小高集会所:延べ192名、吉田公民館:延べ80名 弥生町会館:延べ71名、東栄町会館:延べ120名
レインボー健康体操講演会	6/29:参加170名
〃 (老人クラブ会員向け:市内3会場)	1/28(AM):参加30名、1/28(PM):参加26名、2/12:参加34名
レインボー健康体操体験会(市内3会場)	8/1:参加23名、8/6:参加20名、8/9:参加10名
健康運動サポーター養成講座(全8回コース)	10/3~11/28:受講14名
脳いきいきレクリエーション講座(全2回コース:市内3会場)	8/26~9/2:受講13名、9/10~17:受講10名、9/26、10/4:受講12名
レインボー健康体操指導者勉強会	4/6:参加11名、7/6:参加11名、10/19:参加12名、2/1:参加11名
レインボー健康体操インストラクター養成研修	3/19~2ヶ月間:受講3名
健康運動サポーターの活動支援	14グループに対し、延べ42回講師派遣
地域介護予防活動推進のための広報活動	たち心ハート平成26年1月1日号にサロン特集記事を掲載(A4・2色刷・1頁)
ふれあいサロン研修会(再掲)	2/20:参加27名
ふれあいサロンへの体操指導講師の派遣(再掲)	17サロン

■ 給付事業の実施

(1) 配食サービス事業

市の委託を受け、独居老人等を対象に、燕地区では「燕給食ボランティアの会」の協力を得て、週2回の配食サービス(内1回の調理は業者委託)を実施。燕地区では燕給食ボランティアの会が弁当の献立を考え、6月18・19日に「お楽しみ献立給食」を実施。(食数:延べ50食)
分水地区では運転ボランティアの協力を得て、週1回の配食サービス(調理は業者委託)を実施。(利用者数…燕地区50名・分水地区13名)

(2) 障がい者タクシー券等助成事業

社会参加を目的に、身体障がい者手帳1級・2級所持者に年間24枚、身体障がい者手帳3級・療育手帳A所持者に年間12枚、1枚が小型タクシー基本料金より1割除いた金額(障害者手帳を提示した際の割引額)の利用券、または自動車燃料費助成券の給付を行った。

【タクシー利用券申請状況】

(単位:人)

区分	燕地区	吉田地区	分水地区	合計	
12枚	109	56	25	190	(前年:192)
24枚	225	126	43	394	(前年:430)
合計	334	182	68	584	(前年:622)

【自動車燃料費助成券申請状況】

(単位:人)

区分	燕地区	吉田地区	分水地区	合計	
12枚	162	86	69	317	(前年:305)
24枚	368	199	99	666	(前年:642)
合計	530	285	168	983	(前年:947)

(3) 金婚慶祝事業

結婚50年を迎えた夫婦に対して、敬老の日に「祝詞」を贈呈した。(贈呈数:161組) (前年:113組)

(4) 法外援護事業

火災に対する見舞金の支出と、行政窓口を訪れる行旅人に市外最寄り駅までの切符を支給する財源(片道切符代:230~480円)を負担した。
(火災見舞い金…全焼:4件(40,000円)、半焼3件(15,000円)(行旅人:7件)

(5) 児童遊園地等ベンチ整備事業

市担当課との協議のもと、市内における児童遊園地等に本会及び共同募金を周知する文字入れのベンチを設置した。(設置数:14脚)

(6) 歳末たすけあい配分事業

・おせち料理宅配サービス事業

75歳以上の単身高齢者並びに85歳以上の高齢者のみの世帯、75歳以上の高齢者のみと障がい者(定め有り)の同居世帯を対象に、民生委員・児童委員による希望者の取りまとめを依頼し、大晦日に民生委員・児童委員をはじめボランティアがおせち料理を宅配した。

(おせち料理申請世帯数…909世帯:燕地区489世帯、吉田地区268世帯、分水地区152世帯) (前年:906世帯)

(配達者数…119名:燕地区59名、吉田地区32名、分水地区28名) (前年:126名)

・クリスマスプレゼント購入費助成事業

小学生以下の児童のいる低所得世帯および生活保護世帯に対し、当該児童へのクリスマスプレゼント購入費を助成した。(52世帯、児童108名)

・入学祝品(鉛筆)贈呈事業

本会と共同募金会のPRを兼ねて、小学校新入学児童に対して名入れの鉛筆を贈呈した。(3本組で715名分)

■当事者支援の充実・強化

(1)在宅介護者リフレッシュ事業

市の委託を受け、在宅介護者を対象に日帰り1泊2日の温泉旅行を実施した。(日帰り6/22実施:20名、宿泊9/7～8実施:18名)

また、ボランティアの協力を得て在宅介護者同士の情報交換や憩いの場を定期的に開催し、新たに今年度は「男性介護者」を対象に別枠でも開催した。

- ・ほっとカフェ(7/24:6名、8/29:3名、9/19:4名、10/24:1名、11/27:4名、12/19:1名、1/23:4名、2/19:8名、3/13:3名)
- ・ランチ交流会(7/11:17名、10/29:12名、2/8:10名)
- ・男性介護者向け講演会(9/3:12名)
- ・男性介護者のつどい(10/10:0名、11/15:1名、12/9:2名、1/31:1名、2/22:1名、3/18:1名)

(2)就労支援センター事業(就労継続支援A型)

障がいのある人に対し、一般就労に必要な知識及び能力の向上をめざす事業所として様々なサービスを提供した。利用者は、個々の現状に見合った作業場面の中で就労意欲を磨き、様々な訓練に挑戦した。結果、今年度は1名が民間企業へ就職を果たし、事業開設5年にして7名の就職実績となった。

なお、今年度は開設時からのメイン作業であった印鑑製造に代わり、「つばめキャンドル」と命名したオリジナル製品を開発し、販売取扱い店の開拓に成功しこれにより、「就労」を通じての利用者と支援スタッフの一体感を醸成させ、より効果が期待できる就労支援事業所となった。

(利用状況:定員20名(ほかに施設外就労枠約10名)、雇用契約者21名、非雇用契約者7名)

【業種内容一覧】

		業 種	請負先・作業場所
雇 用 者	作業室	キャンドル製造・販売	就労支援センター
		作業室清掃	就労支援センター
	施設外 支援	施設管理	屋内ゲートボール場すばーく燕
		窓口対応	老人福祉センター
		施設清掃	老人集会センター
	施設外 就 労	品出し作業	ストックバスターズ
		宅配定食(直営)	ふれあい喫茶ぼぼ厨房・配膳室
	返却品解体(リサイクル資源分別)	ツインバード工業株	
非 雇 用 者	作業室	使用済米袋復元	(有)越後麻袋
		日用製品検品・梱包	株川崎合成
	屋外作業	施設ガラス拭き	老人福祉センター・はばたき
	施設外支援	接客	ふれあい喫茶ぼぼ

(3)デマンド交通予約センター事業

市の委託により、デマンド交通予約センター(職員7名)で、「おでかけきららん号」の予約受付業務と運転手への配車業務を4月から本格的に実施した。

主に高齢者のための公共交通機関の一つとして、地域福祉の向上に努めた。

【利用状況】

(単位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
中学生以上	2,473	2,575	2,676	3,238	2,992	2,994	3,257	3,266	3,086	2,885	3,151	3,263	35,856
小学生	12	17	14	13	62	18	36	30	34	27	33	44	340
未就学児	9	7	4	1	14	7	4	17	7	6	3	22	101
合 計	2,494	2,599	2,694	3,252	3,068	3,019	3,297	3,313	3,127	2,918	3,187	3,329	36,297

(運行日1日当り
149人が利用)

(4)地域活動支援センター事業(はばたきにおいて実施)

障がいのある人へ日常生活などの相談対応をはじめ、安心して過ごせる居場所の提供、仲間との交流や興味・創作活動等を通して社会参加の促進を図った。他に、調理、書道、お茶、コラージュなど日課的な活動に加え、花見、外食会カラオケなどグループでの外出体験の定期的実施やSST(社会生活技能訓練)の実施により個々の生活意欲・能力向上を助長した。なお、創作活動における自主生産品は、販売等を通じてPRに努めた。

また、障がいに対する理解促進を図るために、「はばたき祭」(11/23:来場480名)や心のバリアフリー講演会(9/21:来場58名、2/1:来場116名)を開催(再掲)、はばたきに関わるボランティアの勉強会・情報交換会等を開催し、育成に努めた。

【利用状況】

(単位:人)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	16	21	(前年:0)
障害者	412	406	379	379	323	364	422	403	337	317	322	402	4,466	(前年:4,047)
合計	412	406	379	379	323	364	422	403	337	317	327	418	4,487	(前年:4,047)

(5)日中一時支援事業(はばたき)

長期休校日(8:00~18:30)に四箇村ふれあい館を借用し、学齢期障がい児の日中活動の場の提供や、見守り等による家族の一時的な介護負担の軽減を図った。

【利用状況】

(単位:人)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
区分1(軽度)	4	-	-	6	15	-	-	-	2	1	-	4	32	(前年:446)
区分2(中度)	6	-	-	7	22	-	-	-	2	1	-	3	41	(前年:488)
区分3(重度)	18	-	-	24	97	-	-	-	16	8	-	25	188	(前年:1,399)
合計	28	0	0	37	134	0	0	0	20	10	0	32	261	(前年:2,333)

(6)放課後等デイサービス事業(はばたき)※平成25年4月1日開設

利用者個々に個別支援計画を作成し、一人ひとりにあった専門的な療法を用いることで、コミュニケーション能力や社会性等の発達に介入していき、自立した日常生活のために必要な支援を行った。

利用定員は10名とし、放課後の時間帯(14:30~18:30)及び土曜日・長期休校日等(8:00~18:30)にサービスを提供した。

【利用状況】

(単位:人)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
発達障害	144	152	146	160	135	147	160	157	146	151	134	132	1,764
知的障害	67	81	65	82	78	81	77	91	87	91	90	99	989
身体障碍	11	3	7	13	36	5	6	7	13	7	7	14	129
合計	222	236	218	255	249	233	243	255	246	249	231	245	2,882

6. 福祉サービスの利用支援・権利擁護

■福祉サービス利用相談・権利擁護

(1)心配ごと相談事業、弁護士相談事業

心配ごと相談所は、燕地区・吉田地区においてそれぞれ月2回、分水地区において月1回、弁護士相談については、3地区を巡回しながら毎月2回開設した。
また、相談員に対しては、弁護士による地区研修会や全体研修会を実施し、相談員のレベル向上を図った。

(心配ごと相談員研修会…各地区において3カ月に1回) (心配ごと相談員全体研修会…8/1)

【開設・相談対応状況】

(単位:件)

開設日数	①36日		週平均		1日		心配ごと相談所										常勤相談員 0名		その他 9名(民生委員・児童委員7名、民生委員・児童委員以外2名)		相談件数計	来談者数計(人)		
	②24日						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14			15	16
相談内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	相	来			
	生	年	生職	住	家	結	離	健健	医	法	財	事	児母	青教	児障	父母	老	苦	そ	談	談			
	計	金	業業	宅	族	婚	婚	衛・康	療	律	産	故	童子	少年	害者	子子	人	情	の	件	者			
								生保		権			福保	育	社・	福社	福社		他	数	数			
													健							計	計			
① 心配ごと相談	燕	1	0	2	1	5	0	0	3	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	16	17			
	吉田	5	0	2	0	7	0	2	9	1	0	3	1	0	0	0	1	2	2	35	36			
	分水	1	0	0	0	2	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7	6			
② 弁護士相談	燕	0	0	2	3	1	0	7	0	0	9	12	0	0	0	0	0	1	0	35	35			
	吉田	0	0	2	4	2	0	3	0	0	13	9	0	0	0	0	0	0	0	33	33			
	分水	0	2	1	2	3	0	4	0	0	10	12	0	0	0	0	0	0	0	34	34			
合計	7	2	9	10	20	0	17	14	2	32	40	1	0	0	0	0	1	3	2	160	161			

※前年度末相談件数

(19)
(32)
(5)
(33)
(36)
(31)
(156)

(2)相談支援事業(はばたき)

相談支援専門員を増員し、障がい者(児)に関するさまざまな相談に対応するとともに、初期相談対応だけでなく適宜訪問を行い日常生活を支えた。
また、サービス等利用計画を作成し、福祉サービスの紹介や手続き等の支援を行った。

【相談対応状況】

(単位:件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	124	167	164	208	164	136	123	145	124	144	113	111	1,723 (前年:1,002)
訪問	17	25	31	34	27	27	31	24	27	27	21	36	327 (前年:279)
電話	61	77	121	83	63	59	101	93	99	100	85	79	1,021 (前年:899)
その他	19	52	40	40	103	122	111	131	116	86	111	150	1,081 (前年:257)
計画相談数	32	5	2	5	5	3	11	1	8	4	0	1	77 (前年:22)
合計	253	326	358	370	362	347	377	394	374	361	330	377	4,229 (前年:2,459)

燕市との委託契約に基づき、介護給付費等支給決定に係る障害程度区分認定調査を実施した。

【調査実施状況】

(単位:件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在宅	1	1	5	1	3	11	2	2	4	2	2	2	36 (前年:49)
施設	1	0	0	0	3	2	0	1	5	4	1	1	18 (前年:8)
合計	2	1	5	1	6	13	2	3	9	6	3	3	54 (前年:57)

(3)生活福祉資金貸付事業

新潟県社会福祉協議会による貸付事業の窓口になるとともに、既存利用者に対する償還指導及び新規申請の受付業務を実施した。
(貸付件数…16件:燕地区8件、吉田地区7件、分水地区1件)(前年:10件)

生活福祉資金「債権管理」巡回訪問(主催:新潟県社会福祉協議会)	7/11:県社協職員4名来訪
生活福祉資金事務担当者会議(主催:新潟県社会福祉協議会)	7/16、1/31:各日職員1名参加

(4)小口資金貸付事業

緊急の生活つなぎ資金として、3万円を限度とする資金の貸付を行った。原則として連帯保証人を有する貸付であり、本所・支所において速やかに対応できる体制とした。(貸付件数…39件:燕地区13件、吉田地区25件、分水地区1件)(前年:58件)

また、償還期限を過ぎていた仮受入に対し、督促状送付による償還催促を行った。(督促状送付数:40名(連帯保証人を含む)、償還件数:12件)

(5)福祉後見・権利擁護センター事業

成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用に係る相談対応及び手続き支援、また普及・啓発活動やネットワークの構築などに取り組み、地域における権利擁護支援の中核的な機能及び役割を果たした。さらに年度当初4件だった法人後見受任件数に3件の新規受任を加え、年度末には7件となり、事業開始から累計にして9件となった。センターの運営の透明性を担保するため運営委員会での報告及び意見聴取等を行い、より専門的な見地からの助言等の集積を図った。

また、日常生活自立支援事業については相談の受付や情報提供、利用者との仲立ちや生活支援員へのサポートなどの協力を積極的に行った。

さらに今年度から「総合相談支援センター」として障害者相談支援事業と一体的に事業を進め、市委託の相談支援機関として総合力を発揮する端緒となった。

【研修会等の実施・参加】

法人内部研修会の実施(虐待防止に係る)	4/18、5/30:延べ参加90名
法人後見実施社協等による意見交換会	7/12
家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会	7/12
成年後見制度研修会(制度説明:於柏崎市社協)	11/7
相談支援関係職員研修(講師)金井敏氏	11/29:職員15名
日常生活自立支援事業生活支援員研修会	1/24:参加8名、職員2名
全社協・権利擁護センター等に関するヒアリング	1/29
出前講座(NPO法人すまいる)	2/19:参加10名
柏崎市・市民後見フォーラム	3/12:職員3名

【日常生活自立支援事業利用状況(対象区分別実利用者数)】(平成26年3月末現在)

認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	合計
14名(前年:12名)	5名(前年:4名)	4名(前年:4名)	23名(前年:20名)

【生活支援員 登録者数等】(平成26年3月末現在)

登録者数	実働者数	実働率
14名(前年:14名)	14名(前年:13名)	100%(前年:92.8%)

7. 在宅福祉サービスの充実

■介護事業所の事業管理・経営

介護保険制度及び障害者総合支援法に基づく指定事業所として、法令重視の訪問介護サービス及び訪問入浴介護サービスを提供した。また、ケアマネジャーの配置による居宅介護支援事業を展開し、介護サービスの利用相談とサービス提供事業所との調整の役割を担った。

事業所経営の安定のため、介護保険制度の動向の入手に努めつつ、収支状況の分析に努めた。また、提供するサービスの現状を評価し改善点の確認を行った。定期的な職員研修の実施により資質の向上を図った。

(1)サービスの評価の実施

外部評価機関(公益法人かながわ福祉サービス振興会)による「利用者満足度評価」を導入し、利用者の満足度を調査するアンケートを実施し、現状把握、改善点の確認を行い満足度の高い介護サービス事業運営の方向性を確認した。

【アンケート概要】

- ・調査方法・・・無記名記入式
- ・調査対象・・・居宅介護支援、訪問介護、訪問入浴サービスのご利用者及びその家族

【回収結果】

	(配布数)	(回収数)	(回収率)
・居宅介護支援	90件	63件	70.0%
・訪問介護	60件	36件	60.0%
・訪問入浴	8件	7件	87.5%

	居宅介護支援	訪問介護	訪問入浴
1.利用者への説明	82.3	83.3	84.3
2.サービスの内容	91.3	84.3	85.3
3.職員の対応	90.8	85.3	86.3
4.事業所の体制	87.7	86.3	87.3
5.サービス利用の効果	88.9	87.3	88.3
総合評価点	88.2	89.1	93.2

(2)介護事業課内部研修会の実施

「地域支え合い活動」について理解を深め連携を図る	5/21:29名
高齢者に適した食事づくり	6/27:30名
福祉職員の心構えと職業倫理を学ぶ	7/30:29名
感染症に対する知識と対処方法について理解を深める	11/28:30名
認知症利用者への対応について	3/6:33名

(3)地域福祉事業、地域、関係機関等との連携、協力

・ふれあいサロン福祉相談職員派遣

たけのこの会 砂子塚公会堂	6/11:2名 9/10:2名
さくら会 笈ヶ島ふれあい館	10/4:2名
ほっとサロン吉田 ボランティア・市民活動センター	11/11:2名
わたあめ 学校町公会堂	11/20:2名
ほっとサロン燕 燕市老人集会所センター	9/17:1名

・実習生の受け入れ

日本福祉医療専門学校	3名×2日間
新潟医療福祉カレッジ	2名×2日間
介護労働安定センター	2名×2日間
三幸福祉カレッジ	3名×2日間

・燕市シルバー人材センター講師派遣

家事援助サービス講習会 燕市勤労者総合福祉センター	10/21:2名派遣 10/31:2名派遣 11/14:1名派遣
---------------------------	----------------------------------

■居宅介護支援事業

介護保険制度の指定居宅介護支援事業所として、4名のケアマネジャーを配置して事業を実施した。住み慣れた地域の中で、安心して自立した日常生活が営まれるよう適正な支援に努めた。

(1)要介護状態になっても、居宅において自立した日常生活が送れるよう支援した。(2)新規の依頼を積極的に受けた。

給付管理件数

区分	H24		H25	
	件数	月平均	件数	月平均
要支援1・2	101	8.4	104	8.6
要介護1・2	600	50.0	643	53.6
要介護3～5	480	40.0	464	38.7
合計	1,181	98.4	1,211	100.9

給付管理件数

区分	H24		H25	
	件数	月平均	件数	月平均
新規依頼	46	3.8	38	3.2

(3)困難事例を積極的に受け入れた。

給付管理件数

区分	H24		H25	
	件数	月平均	件数	月平均
認知症高齢者	317	26.4	266	22.2
独居高齢者	91	7.6	75	6.3

(4)燕市の依頼を受け介護認定調査を行った。

給付管理件数

区分	H24		H25	
	件数	月平均	件数	月平均
介護認定調査	14	1.2	20	1.7

(5)特定事業所加算Ⅱを算定し質の高いケアマネジメントの推進に努めた。

・24時間連絡体制を確保し相談に応じる体制を確保した。

区分	H24		H25	
	件数	月平均	件数	月平均
営業時間外相談受付件数	47	3.9	69	5.8

・利用者に関する情報、サービス提供に当たっての留意事項の伝達等を目的としたケアマネ定例会を、週1回開催した。

・研修会に積極的に参加し、介護支援専門員の質の確保・向上に努めた。

ケアマネ情報交換会	5/17:2名
燕西蒲原地区介護支援専門員協議会研修	6/3:4名 12/20:4名
三条地域難病連絡会	6/6:1名 3/13:1名
社会福祉施設職員接遇リーダー養成研修会	6/13:1名
ケアマネ事例検討会	各日1名(6/18、8/23、10/16、12/17、2/18)
感染症予防衛生講習会	6/27:1名
県央地区認知症担当医ネットワーク講演会	7/2:3名 11/26:1名
ケアマネ代表者会議	7/5:1名 8/23:1名 11/12:1名 2/3:1名
栄養・嚥下ケアマネジメントミーティング	7/19:1名 9/20:1名
ケアマネと燕労災病院との連携に関する懇話会	7/24:4名
吉田県立病院地域連携会議	11/19:1名
虐待予防・対応研修会	7/29:1名
吉田地区包括支援センター情報交換会	8/8:1名
脳卒中県央地域連携研究会	11/28:2名
在宅認知症者支援研修会	12/25:1名
認知症対策推進シンポジウム	2/5:1名
コミュニケーションスキルアップ研修会	9/4:1名
燕弥彦地域在宅医療連携協議会研修会	3/26:1名
燕市処遇困難事例検討会	5/17:2名 9/20:1名 1/17:1名
ウィルアシストセミナー	6/14:1名 7/18:1名 9/5:1名 11/15:1名

■訪問介護事業

本所のほか吉田支所・分水支所を出張所とし、年中無休の午前7時から午後9時までをサービス提供時間とする体制の中で、円滑なサービス提供に努めた。
また、月1回、定例会を開催し、情報共有しサービス内容の向上に努めた。

(1)訪問介護事業

区分	H24		H25	
	実利用者数	延利用回数	実利用者数	延利用回数
人数	115	11,935	93	13,050

(2)介護予防訪問介護事業

区分	H24		H25	
	実利用者数	延利用回数	実利用者数	延利用回数
人数	44	2,290	28	2,268

■訪問入浴介護事業

区分	H24		H25	
	実利用者数	延利用回数	実利用者数	延利用回数
人数	26	849	21	980

■障がい福祉サービス事業

(1)居宅介護事業

障がい者に対するホームヘルプサービスを提供した。

区分	H24		H25	
	実利用者数	延利用回数	実利用者数	延利用回数
人数	58	4,898	48	5,842

(2)同行援護事業

移動に著しい困難を有する視覚障がい者等の外出に同行し、必要な情報の提供、移動の援護を行った。

区分	H24		H25	
	実利用者数	延利用回数	実利用者数	延利用回数
人数	7	184	6	268

(3)移動支援事業

障がい者等の状態に合わせ、不安なく外出や移動ができるよう支援した。

区分	H24		H25	
	実利用者数	延利用回数	実利用者数	延利用回数
人数	33	686	27	691

(4)身体障がい者訪問入浴介護事業

燕市受託事業として、入浴困難な身体障がい者(児)に対し、看護師1名介護員2名の体制で移動入浴車による訪問入浴サービスを提供した。

区分	H24		H25	
	実利用者数	延利用回数	実利用者数	延利用回数
人数	4	144	3	113

■軽度生活支援事業

燕市受託事業として、65歳以上のひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯の方に対しホームヘルプサービスを提供した。

区分	H24		H25	
	実利用者数	延利用回数	実利用者数	延利用回数
人数	7	418	6	276

■在宅生活支援ホームヘルパー派遣事業

燕市に居住し身内や親族等の支援が得られない方に対しホームヘルプサービスを実施した。

区分	H24		H25	
	実利用者数	延利用回数	実利用者数	延利用回数
人数	7	43	4	90

・研修会に積極的に参加し、訪問介護員の質の確保・向上に努めた。

社会福祉施設職員接遇初任者研修会	6/5:1名
ウィルアシストセミナー	6/14:3名 7/18:3名 9/5:2名 11/15:4名 12/21:2名 3/15:3名
感染症予防衛生講習会	6/27:1名
燕市介護保険サービス事業者連絡協議会分科会	8/26:1名 9/9:6名 10/28:1名
平成25年度同行援護従事者研修会	9/18、19、25、26:3名 10/12、13、19、20、:2名
訪問介護計画作成・展開研修	10/28～31:1名
難病患者等ホームヘルパー養成研修会	11/18・12/5:2名
訪問入浴研修会	12/13:1名
介護技術研修会	11/16:1名
県央圏域研修会	1/31:1名
新潟県在宅褥瘡セミナー	3/1:1名
燕市分水地区情報交換会	3/12:1名
吉田県立病院地域連携会議	11/19:4名
キャリアアップ支援研修	9/24、25、10/16:4名

・利用者、家族からの緊急な訪問要請に迅速に対応した。

区 分	H24		H25	
	件数	月平均	件数	月平均
訪問介護	24	2.0	35	2.9
障がい福祉サービス	8	0.7	10	0.8

8. 災害支援

■長岡豪雨災害

平成25年7月30日(火)の大雨により県内長岡・栃尾地域では、多くの方々が被災され、住宅被害が生じた。

本会では、大きな被害を受けた長岡市乙吉地区へ「被災地支援市民ボランティアバス」を運行した。

【市民ボランティアバス運行】

8/4:14名 ※うち職員7名

■協力体制整備

青年会議所主催の地域の関係機関を対象としたネットワーク会議に出席し、日頃からのつながりと災害時への協力体制整備を目指した。

ネットワーク会議への出席 年7回(6/10、7/18、8/17、9/27、10/16、10/26、12/4)